

ハッピースイーツ製菓専門学校 情報公開

(2015年度自己点検・評価結果)

目 次

1. 理事長挨拶
2. 中村学園について
 - 2-1. 学園の誕生
 - 2-2. 学園の歩み
 - 2-3. 学園及び学園グループの所在地と連絡先
3. 学園の財務状況
 - 3-1. 資金収支計算書
 - 3-2. 貸借対照表
4. 学校長挨拶
5. 学校について
 - 5-1. 学校の歩み
 - 5-2. 学校の所在地と連絡先
6. 入学者数と出身地
7. 教育
 - 7-1. 退学率
 - 7-2. 主要資格・検定合格率
 - 7-3. 卒業後の進路
 - 7-4. 教職員研修
 - 7-5. 教職員・講師
8. 学生支援
 - 8-1. SAM活動及びクラブ活動
 - 8-2. カウンセリング
9. 危機管理
10. 国際連携・地域貢献等

1. 理事長挨拶

今年度より美容分野の学校があらたに校名を変更し、「ジェイ ヘアメイク専門学校」となりました。

現在は以下5校の運営を行っております。

「国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校」「専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園」
「アイ エステティック専門学校」「ハッピースイーツ製菓専門学校」「ジェイ ヘアメイク専門学校」であります。

戦後間もない昭和22年洋裁の技術指導を目的として設立された中村洋裁研究所が現在の5校の基盤となっております。

時代の流れと共に新しい分野の専門学校展開を図ってまいりましたが、その教育に対する精神は、一貫しており、技術を身につけ、常に自信をもって社会に貢献でき、相手の立場が理解できるホスピタリティ精神の醸成を図る事であります。

学園の大きな改革の始まりは1987年（昭和62年）に行った洋裁の技術指導から観光産業に従事する学生の育成への転換でありました。その後、動物分野、美容分野、製菓分野へと進展を図ってまいりました。それぞれの時代で学園を支える多くの教職員があつて現在の中村学園があると常に感謝いたしております。現在では、5校合わせて約1,700名の学生が夢を果たすために、日夜努力を重ねており、教職員はその夢の実現をサポートする日々を送っております。

これからも、さらに専門教育指導の充実を図り、学生にとって「明るく 楽しく 元気よく」をモットーに充実した学園生活を送る事が出来る専門学校を目指してまいります。

中村学園 GRAND CREDO

おもてなしと感謝の心で、夢をカタチに

2016年4月1日

学校法人 中村学園

理事長 **中 村 洋 子**

2. 中村学園について

2-1 学園の誕生

昭和 22 年名誉理事長中村あいが教育機関として「中村洋裁研究所」を開設いたしました。以来、本日まで専門教育に携わり教育に対する取組む姿勢は常に技術指導、技能習得を通して人格形成をはかり、時代が求める職業人の育成でありました。開校以来 66 年その理念は現在に受け継がれ 28,100 人以上の卒業生を送り出し、それぞれの分野の第一線で活躍し社会に貢献しています。

2-2 学園の歩み

- 1947 年 12 月 22 日 「中村洋裁研究所」開所。
- 1948 年 GHQ に学校の公認を申請。千葉県知事の公認となる。
- 1951 年 財団法人 中村学園として発足、中村ドレスメーカー女学院。
- 1966 年 学校法人 中村学園として認可、旧 1 号館校舎が竣工。
- 1976 年 専修学校認可により中村ドレスメーカー専門学院に校名変更。
- 1977 年 現在の 6 号館中村学園ビル 7 階建が完成。
- 1985 年 学校法人森谷学園と教育提携を行い旅行科の設置を計画。
- 1987 年 校名を国際トラベル・モード専門学校と改め、旅行科を新設。
- 1988 年 2 号館の竣工。(株)ナカムラの設立。学習塾、貸ビル部門を分離。
- 1993 年 国際女子ビジネス専門学校と国際トラベル・ホテル専門学校の 2 校に分離。新校舎 3 号館が竣工。
- 1996 年 国際女子ビジネス専門学校を CIB 国際ビジネス専門学校に変更。
- 1997 年 ちば愛犬動物学園を認可外機関として(株)ナカムラに設立。
- 1999 年 CIB を閉校。専門学校ちば愛犬動物学園を認可校として開校。
- 2000 年 株式会社ナカムラに「ちば留学センター」を開設。
- 2002 年 専門学校ちば愛犬動物学園の実習校舎として 5 号館を購入。
- 2003 年 専門学校ちば愛犬動物学園のおゆみ野教室の実習棟を竣工。
- 2004 年 専門学校ちば愛犬動物学園に約 1 万坪の長柄実習場を竣工。
- 2006 年 専門学校ちば愛犬動物学園に新 1 号館 千葉校舎を竣工。
国際トラベル・ホテル専門学校の付帯事業としてズーフォニックスアカデミー千葉校を開設。 幼児の英語教育を開始。
- 2007 年 国際トラベル・ホテル専門学校に 8 号館新校舎が竣工。
3 号館を利用してアイ エステティック専門学校を開校。
- 2009 年 ズーフォニックスアカデミー千葉校が認可外として独立。
- 2013 年 新総合校舎 9 階建 N タワーが完成。
- 2014 年 ハッピースイーツ製菓専門学校を開校。
- 2015 年 アイ エステティック専門学校を開設

2-3. 学園及び学園グループの所在地と連絡先

(1) 学園

学園本部（1号館）

〒260-0021 千葉市中央区新宿 2-14-13

TEL : 043-242-0778 FAX : 043-242-0541

総務部（1号館）

〒260-0021 千葉市中央区新宿 2-14-13

TEL : 043-242-0467 FAX : 043-242-2916

(2) 学園グループ

株式会社ナカムラ

〒260-0021 千葉市中央区新宿 2-13-10

TEL : 043-248-8011 FAX : 043-241-4480

ちば留学センター

〒260-0021 千葉市中央区新宿 2-14-3 中村学園Nタワー 2階

TEL : 043-248-8011 FAX : 043-241-4480

<http://www.chiba-ryugaku.jp/>

ズー・フォニックス・アカデミー（株式会社ナカムラ本社）

〒260-0021 千葉市中央区新宿 2-13-10

TEL : 043-238-2081・0120-026-081

<http://chiba.zoo-phonics.jp>

e-mail chiba@zoo-phonics.jp

3. 学園の財務状況

3-1. 資金収支計算書 (2015年4月1日から2016年3月31日)

単位：千円

収入の部			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	1,962,109	1,981,013	△18,904
手数料収入	25,895	20,337	5,558
補助金収入	16,419	16,419	0
資産運用収入	10,000	709	9,291
事業収入	0	7,415	△7,415
雑収入	136,410	26,850	109,560
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	1,244,337	1,037,236	207,101
その他の収入	192,073	626,299	△434,226
資金収入調整勘定	△953,375	△1,084,669	131,294
前年度繰越支払資金	1,306,078	1,306,078	—
収入の部合計	3,939,946	3,937,687	2,259
支出の部			
科目	予算	決算	差異
人件費支出	941,327	936,779	4,548
教育研究経費支出	520,190	382,444	137,746
管理経費支出	308,639	303,014	5,625
借入金等利息支出	5,668	5,668	0
借入金等返済支出	120,000	120,000	0
施設関係支出	0	71,154	△71,154
設備関係支出	44,000	24,240	19,760
資産運用支出	0	29,381	△29,381
その他の支出	428,934	661,933	△232,999
資金支出調整勘定	△16,681	△86,157	69,476
次年度繰越支払資金	1,587,869	1,489,231	98,638
支出の部合計	3,939,946	3,937,687	2,259

決算－予算＝差異

3-2. 貸借対照表(2016年3月31日)

単位：千円

科目	本年度末	前年度末	増減
資産の部			
固定資産	5,095,945	5,171,601	△75,656
有形固定資産	4,953,734	5,055,277	△101,543
その他の固定資産	142,211	116,324	25,887
流動資産	1,514,855	1,345,102	169,753
資産の部合計	6,610,800	6,516,703	94,097
負債の部			
固定負債	210,000	330,000	△120,000
長期借入金	210,000	330,000	△120,000
流動負債	1,532,259	1,545,386	△13,127
負債の部合計	1,742,259	1,875,386	△133,127
基本金の部			
第1号基本金	6,209,401	6,052,028	157,373
第3号基本金	100,000	100,000	0
基本金の部合計	6,309,401	6,152,028	157,373
消費収支差額の部			
翌年度繰越消費支出超過額	1,440,860	1,510,711	69,851
消費収支差額の部合計	△1,440,860	△1,510,711	69,851
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部 合計	6,610,800	6,516,703	94,097

(注)

1. 減価償却額の累計額の合計額 1,591,673 千円

2. 徴収不能引当金の合計額 4,338 千円

3. 担保に供している資産の内訳

千葉県中央区新宿 2-11-5 学校用地
同 上 建物 (3号館)

千葉県中央区新宿 2-14-17 学校用地

千葉県中央区新宿 2-14-13 学校用地
同 上 建物 (1号館)

4. 退職金引当金

期末退職金の要支給額 201,000 千円は、千葉県私学教育振興財団よりの
交付金と同額のため、退職給与引当金は計上していない。

5. 翌会計年度以降の会計年度において基本金への組入れを行う金額 345,252 千円

4. 学校長挨拶

本校は専修学校認可、また国家資格である製菓衛生師の養成施設としての指定を受けて2014年4月に「ハッピースイーツ製菓専門学校」として設立されました。

従前から、千葉県内に製菓専門学校をと言う要望はありましたが、千葉県内のパティシエ（製菓技術者）を目指す若者、及び、特に千葉県の製菓業界からの熱い期待を受けて、千葉県で唯一の「製菓衛生師」を在学中に取得可能な専門学校として、誕生しました。消費者の食の安全に対する意識は高く、「美味しく安全なもの」を提供するために製菓衛生師の学習を通して正しい知識と技術を習得していきます。

製菓・製パン業界は流行が常に移り変わり、新しい商品、海外からの新ブランドの上陸など様々なトピックスが目まぐるしく移り変わる業界です。

手軽に購入できるコンビニデザートなど、コンビニエンスストアでも本格的な洋菓子の提供に力を入れており、消費者にとっては選択肢が広がるだけでなく洋菓子がより身近なものになっています。海外で話題のスイーツ専門店、高級志向の洋菓子が注目され、洋菓子業界全体が活気のあるマーケットであることは間違いありません。

学校法人中村学園の教育理念は「ホスピタリティ・マインド豊かな社会人の育成」にあります。ハッピースイーツ製菓専門学校にも、根底にはその理念が流れています。職人気質という言葉で揶揄される技術偏重ではなく、相手の立場に立ち、お客様の気持ちを理解し、真心と思いやりを持ってお菓子作りに努める姿勢を大切にしています。お客様の幸せを自らの喜びと感ずることのできる、「おもてなしの心をもった製菓・製パン技術者」の育成をしていきます。

2016年4月1日

ハッピースイーツ製菓専門学校

校長 神保勝司

5. 学校について

5-1. 学校の歩み

- 2010年 学校法人中村学園「国際トラベル・ホテル専門学校」(現国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校) ホテル科内に、パティシエ・ヴァンドゥーズコースを設置し、千葉県洋菓子協会の協力を得て、製菓技術習得及び製菓販売の教育を開始する。
- 2011年 同パティシエ・ヴァンドゥーズコースをパティシエ科として認可申請し、本格的な製菓教育を開始する。
- 2012年 国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校パティシエ科の経験と実績を踏まえて、ハッピースイーツ製菓専門学校の認可申請を行う。
- 2013年 定員40名で募集を開始する。
- 2014年 学校設立申請が認可され、第1期生39名で学校運営を開始する。また、定員を80名に増員申請し、第2期生の募集を開始する。
- 2015年 開校2年目に当たり、62名の第2期新入生を迎える。

5-2. 学校の所在地と連絡先

学校本部 (6号館)

〒260-0021 千葉市中央区新宿 2-11-2

TEL : 043-239-2520 FAX : 043-239-2521

フリーダイヤル 0800-800-3281

<http://happy-sweets.jp/>

e-mail hpy@nakamura.ac.jp

N-TOWER

アトリエH (1F)

〒260-0021 千葉市中央区新宿 2-14-3

6. 入学者数と出身地

出身地	2014年度	2015年度
	昼間部	昼間部
	パティシエ科	パティシエ科
千葉	38	59
東京	1	0
茨城	0	3
計	39	62

外国人留学生：入学者なし

7. 教育

7-1. 退学率

1年生退学率

学科	2014年度	2015年度
パティシエ科	5.1%	14.5%
計	5.1%	14.5%

2年生退学率

学科	2014年度	2015年度
パティシエ科	—	0.0%
計	—	0.0%

全学年退学率

学科	2014年度	2015年度
パティシエ科	5.1%	9.1%
計	5.1%	9.1%

7-2. 主要資格・検定合格率

検定名	受験対象	2014年度	2015年度
製菓衛生師	パティシエ科2年	—	94.6%

7-3. 卒業後の進路

	2014年度	2015年度
卒業生数	—	37
就職希望者	—	37
非就職者希望者	—	0
内定者数	—	35
進学・留学	—	0
卒業生就職率	—	94.6%
主な就職先	創作洋菓子 モンペリエ 西洋菓子処 樹杏 お菓子工房 バニーユ／フリアン 菓子工房 セ・ラ・ヴィ 千葉スイーツ ハレの日 スイーツミズノヤ フランス菓子のミレー あんぽんたん／エル・プランタン 成田菓子工房モンシュシュ ラ・パティスリー・ベルジュ 菓子工房 ル・ヴェール 黒船菓子店／ゴット トランジットジェネラルオフィス 貝殻亭リゾート&ガーデン 株式会社 川島屋 ホテルザ・マンハッタン 浦安ブライトンホテル東京ベイ 京成ホテルミラマーレ など	

7-4. 教職員研修

1. 2015年度の研修方針

(1) 学園研修

自分自身のあり方やリーダーシップの発揮の仕方を見つめ直し、長期的・継続的に望む結果を出す。組織づくりの原則を考え、行動し、習慣化することを目的として「7つの習慣」について研修を実施する。学園研修を通して、自分自身の人生を“長期的、継続的に好ましい状態”へと導くことを目指していく。

(2) 学校研修

職業人として心掛ける5S活動を実践し、まごころとおもいやりをもった人材を育成していくために個々の知識・技術力向上を図り、学生のモチベーションアップにつなげる。また、学生指導力向上や組織人としてのスキルアップを目標とする。

2. 研修実績

月/日	目的*	タイトル	場 所	対 象	内 容
3/31	職員	新入教職員研修	学校	新入教職員	就業規則等
4/3	指導	新入教職員研修	学校	新入教職員	学生対応
4/29	職員	7つの習慣	千葉県 研修施設	全教職員	良い習慣・悪い習慣
6/5	職員	マイナンバー法で 企業が準備すべきこと	商工会議所	総務	特定個人情報 保護対策
6/14	専門	千葉県洋菓子コンテスト ジャパノケーキショー予選	学校	教務	プティガトー 部門出展
6/23	専門	洋菓子協会技術講習会	学校	教務	オリジナル商品の 技術
7/8	職員	首都直下地震に備える	ビックサイト	総務	備蓄品・避難訓練
7/16	職員	マイナンバー民間事業者の対応	商工会議所	総務	マイナンバーの 導入・目的・概要
8/6	職員	学校法人会計基礎講座	ツインビル	総務	財務・経理の知識
8/18	職員	学校法人会計基準研修	教育会館	総務	会計基準の見直し
8/18	指導	専門学校教員のための 就職指導講座	千葉県	就職	心構え 実践講座
8/27～28	職員	甲種防火管理者資格講習	千葉県	教務	防火管理
9/7～9/8 10/7・11/9	職員	リーダー管理職養成校塾	東京都	教務	管理職の役割
9/28	専門	ジャパノケーキショー東京	産業貿易センター	教務	製菓技術出展
9/25	職員	職業人教育学会研究会	東京都	教務	職業実践専門課程

9/29	職員	マイナンバー制度実務対応 セミナー	千葉県	総務	実務への影響と対応
9/30	職員	労務管理とマイナンバー セミナー	千葉県	総務	改正労働者派遣法等
10/2	職員	文部科学省教育研修活動 補助事業 管理者研修	東京都	総務	学校法人会計等
10/23	職員	新規顧客獲得戦略セミナー	千葉県	広報	顧客セールス
11/7	職員	アマネジメント能力	学校	リーダー	インバケット演習
11/28	職員	アマネジメント能力	学校	補佐・室長	インバケット演習
1/24 ・ 2/5	専門	洋菓子製造技能士1級	千葉県	教務	学科・実技
2/4 ・ 2/5	職員	実践ソリューションフェア	東京都	総務	IT 業界動向と知識
2/9	専門	食品衛生講習会	保健所	教務	食品衛生
3/8	職員	日本学生支援機構奨学金 採用業務研修	東京都	学務	奨学金採用
3/23	職員	アマネジメント能力	学校	リーダー	フォローアップ
3/23	職員	アマネジメント能力	学校	補佐・室長	フォローアップ
3/28	指導	メンタルヘルス研修	千葉県	教務	コミュニケーション心理学

* 専門・・・専攻分野に関する知識、技術、技能を修得・向上するため

指導・・・授業及び生徒に対する指導力等を修得・向上するため

職員・・・役職別研修や学校事務研修など学校組織で働くため

7-5. 教職員・講師

専任教員 6名

職員 3名

非常勤教員 23名

8. 学生支援

8-1. SAM活動及びクラブ活動

SAM規程

1. 名称

この会は、中村学園の学生から選ばれたメンバーと学園から任命された職員により構成され、名称を School Activity Members といい、略してSAM(サム)と称する。

2. 目的

中村学園の学生が、明るく元気で活力のある学生生活を送るために

I TH・A I K・A I E・J H M・H P Y 5校の学生と学園の教職員でSAMを結成し、教職員は学生の自主活動の促進を図り、学生は自主活動により各種イベントの企画運営、クラブ活動、ボランティア活動の活性化を図る。

3. 基本活動目標

- (1) クラブ活動の活性化を図る。
- (2) ボランティア活動の推進を図る。
- (3) 学生の自主活動としての行事を策定し、運営実行を行えるよう企画立案を行う。

4. 組織

- (1) 各クラブよりSAM担当メンバーを1名選出する。
- (2) 各学校のクラスよりSAM担当メンバーを2名選出する。
- (3) 会長1名、副会長・書記・会計の役員を11名おく。
- (4) 行事・広報・クラブ・ボランティアの各委員を編成し、年度活動計画を策定する。
- (5) 学園はSAM活動を支援するため教職員をSAM職として配属する。

5. 任期

- (1) SAMメンバーの任期は、1年とする。
- (2) 期間は年度の5月下旬に組織され、翌年度の第一回SAM会議前日までとする。
ただし2年生の学生は卒業で役割を終える。

6. 運営

- (1) SAM会議は、原則として毎月1回行う。
- (2) 組織結成と役員を選出、年間活動計画案策定のため、5月に第一回SAM会議を行う。
- (3) 会長の職務を補佐するために、役員会議を随時開催する。
- (4) 各既存クラブや新規クラブ募集の支援を行い、クラブ確定後にクラブの年間予算の管理を行う。
- (5) SAM主催のボランティア活動を年数回行う。
- (6) クラブ活動やボランティア活動の情報を学生に伝達し、参加を促す。
- (7) SAM運営の行事は、7月までに企画案を立て学園の承認を持って実行する。

7. 予算

- (1) SAMの年間総予算は、クラブ運営予算<年度の在籍学生数×1,500円>及びイベント活動予算<年度の在籍学生数×1,500円>で構成される。
- (2) クラブ活動予算は、年度当初に総額が決定され、各クラブの年間活動計画等を参考にして配分方法を立て、SAM職代表の承認を得る。
- (3) 予算の執行は会長が責任を持って行い、会計の執行手続きについてはSAM職リーダーの指示に従い会計が執り行なう。

クラブ名と員数

クラブ名	2013年度				2014年度					2015年度				
	ITH	AIK	AIE	計	ITH	AIK	AIE	HPY	計	ITH	AIK	AIE JHM	HPY	計
バドミントン	39	32	0	71	36	25	2	0	63	34	4	2	8	48
サッカー(男女)	15	18	0	33	28	18	6	1	53	34	22	8	2	66
野球	12	10	1	23	20	4	1	0	25	24	4	1	1	30
バレーボール	41	21	11	73	15	21	1	0	37	17	11	13	3	44
男女バスケットボール	14	31	5	50	12	31	4	0	47	21	28	23	0	72
テニス	11	21	1	33	8	27	2	0	37	21	9	1	1	32
ボウリング	3	13	0	16	6	3	1	0	10	0	0	0	0	0
カクテル研究	29	31	8	68	28	8	0	0	36	69	6	3	15	93
ふれあい	4	42	0	46	1	10	0	0	11	0	0	0	0	0
軽音楽	15	20	6	41	15	18	9	3	45	17	17	12	5	51
アウトドア	78	8	2	88	121	15	6	0	142	146	2	9	3	160
トックスポーツ	1	34	0	35	0	44	0	0	35	7	41	4	0	52
シネマ	0	50	2	52	1	54	0	0	55	10	35	0	2	47
チャリ	63	0	0	63	58	2	0	0	60	79	1	16	1	97
ダンス	19	22	12	53	17	10	8	3	38	39	3	20	0	62
美ューティ	0	0	32	32	1	0	29	0	32	3	0	26	0	29
アクア	0	16	0	16	0	16	0	0	16	2	10	0	0	12
クルージュパソ	53	0	2	55	66	4	0	0	70	126	0	0	0	126
パティシエ	18	36	4	58	6	9	4	0	19	24	5	2	0	31
フォト	4	12	0	16	0	14	0	0	14	6	19	0	0	25
テーマパーク	35	11	0	46	49	2	1	0	52	43	5	0	2	50
華道	3	17	0	20	2	12	0	0	14	0	0	0	0	0
卓球	10	0	0	10	17	3	0	0	20	11	4	1	1	17
Job & Joy	—	—	—	—	0	0	65	0	65	0	0	63	0	63
ダイエット	—	—	—	—	21	0	0	0	21	14	3	2	0	19
みんなのゴルフ	—	—	—	—	26	0	2	0	28	12	4	0	0	16
計	467	445	86	998	554	350	141	7	1052	759	233	206	63	1261

ITH：国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校

AIK：専門学校ちば愛犬動物フラワー学園

AIE：アイ エステティック美容専門学校

JHM：ジェイ ヘアメイク専門学校

HPY：ハッピースイーツ製菓専門学校

8-2. カウンセリング

スクールカウンセラーの設置

場所： 学生相談室を校舎外の近隣に設備。

日時： 毎週水曜日 15 時～19 時まで開設。

方法： 学生は予約電話をカウンセラーの先生へかけて相談日時を決定。

告知： 4 月オリエンテーション時にカウンセラーを紹介、ポスター掲示

9. 危機管理

視点：個人情報保護、事故対策、防災対策、健康管理、苦情処理

項目	内容
2015年度 実績	<p>1. 危機管理ミーティング 担当：小俣・植草・矢口・安田・櫻井正・鈴木史・大澤・小松崎・後藤・佐野・富澤・川島克・大田垣</p> <p>(1)内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ①新たな合同避難訓練計画と実施 ②非常・災害時備蓄品の変更 ③緊急地震マニュアルの作成 ④消防法に基づく対応の整備 ⑤緊急連絡先の更新と確認 <p>(2)日程</p> <ul style="list-style-type: none"> ①2015年6月19日(金) ②2015年7月9日(木) ③2015年8月21日(金) ④2015年9月18日(金) ⑤2015年10月16日(金) ⑥2015年11月12日(木) ⑦2015年12月4日(金) ⑧2016年1月15日(金) ⑨2016年2月19日(金) <p>2. 中村学園合同避難訓練の実施</p> <p>(1)実施日：事前訓練 2015年11月5日(木)～11月17日(火) 実践訓練 2015年11月18日(水) ※時間指定なし 事後訓練 2015年11月19日(木)～11月30日(月)</p> <p>(2)参加人数：1,345名</p> <p>(3)目的：命を守る行動選択訓練</p> <p>(4)手段：状況に合わせた自己の安全確保方法を身につける 学生と教職社員の連携による安否確認方法の確認 大規模震災時の教職社員の初期対応の確認 各校の災害対策室と災害対策本部の情報連絡方法の確認</p> <p>(5)反省点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・欠席者を把握するのが困難であった。 ・複合施設であるN-TOWERの運用が困難であった。

<p>2015 年度 実績</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特別な留学生への事前指導が必要であった（特に安否確認名簿記入）。 ・各教室の音響調整スイッチの未確認。施設間を結ぶ通信機器の不良。 ・事前の準備、説明不足。安否確認の適切なタイミングやオクレンジャーの有効活用を検討。危機管理メンバー間の協力。職員のための訓練も必要。 <p>3. 学生指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インフルエンザ、ノロウイルス予防啓蒙 ・健康診断実施＜2015年4月3日(金)、2015年4月10日（金）＞ ・防災啓蒙活動 ・SNS 利用における学生への指導 ・薬物の危険性における学生への指導 <p>4. 職員実施事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の取扱いに関する注意喚起。 ・健康診断実施＜2015年4月3日(金)、2015年4月10日（金）＞ <p>5. 施設・設備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防犯カメラによる監視活動 ・消防点検 ・防災備蓄品の整備 ・救急医療セットの整備 ・A E D 定期点検 ・夜間有人警備（合同校舎）
<p>今後の取組</p>	<p>危機管理対策として学生・教職員・講師への一斉連絡システム(オクレンジャー)の登録と閲覧の徹底。</p> <p>定期的に SNS への書き込みへの注意喚起。</p> <p>実習中の怪我など緊急対応マニュアルの整備。</p>

10. 国際連携・地域貢献等

視点：国際連携や地域貢献、新規導入行事等の活動

地域貢献・行事

- ① キッズハッピープロジェクトとして小学生を対象としたお仕事体験イベントを開催
- ② 中学生の職場体験
- ③ 学園全体によるSAM活動としての清掃ボランティア等
- ④ ロールケーキギネス記録に挑戦する地域主催イベント参加
- ⑤ 千葉市内の生産者と協力した商品開発